

学校推薦型選抜（公募）Ⅱ期 国語「基礎学力調査」

【一】 次の文章を読んで、後の問（問一～六）に答えなさい。

グーグル検索等によるネット上の莫大もくだな情報へのアクセシビリティの拡大と、それらの情報の編集可能性の拡大は、私たちの知的生産のスタイルを大きく変えました。この変化の中で、今日、ネット情報をコピーしてレポートを作成する学生や、報道機関の記者が十分な取材をしないままネット情報を利用して記事を書いてしまい、後でその情報が間違っていたことがわかって問題となるケースなどが生じています。

こうした状況を受け、レポートや記事を書く際、ネット情報の利用はあくまで（A）で、図書館に行つて直接文献を調べ、現場へ足を運んで取材すべきだと主張する人もいます。他方、そんなことをしているのは変化に追いつけないので、ネット検索で得た情報をもとに書くことも認めるべき、（B）、書物や事典を参照して書くことと、ネット検索で得た情報をもとに書くこととの間に本質的な差はないと主張する人もいます。ネット情報と図書館にシヨゾウ（ア）されている本の間には、そもそもどんな違いがあるのでしょうか。私の考えでは、両者には作者性（a）と構造性という二つの面で質的な違いがあります。まず本の場合、誰が書いたのか作者がはっきりしていることが基本です。著作権の概念そのものが、ある著作物には（C）の作者がいることを前提に発展してきたわけで、だからこそオーファン（孤児）著作物の処理が問題になるわけです。つまり、本というのは、基本的にはその分野で^(イ)テイヒョウのある書き手、あるいはテイヒョウを得ようとする書き手が、社会的評価をかけて出版するものです。ですから、書かれた内容に誤りがあったり、誰か他人の著作の剽窃（b）があったりした

場合、責任の所在は明確です。その本の作者が責任を負うのです。

これに対してネット上のコンテンツでは、Wikipediaにシヨウチヨウされるように、特定の個人だけが書くというよりも、みんなで集合的に作り上げるといふ発想が強まる傾向にあります。作者性が匿名化され、誰にでも開かれていることが、ネットのコンテンツの強みでもあります。ここでは複数の人がチェックしているから（D）正しいという前提があつて、この仮説は実際、相当程度正しいのです。つまり、本の場合は、その内容について著者が責任を取るのに対し、ネットの場合は、みんなが共有して責任を取る点に違いがあるわけです。

二つ目の、構造性における違いですが、これを説明するためには、「情報」と「知識」の決定的な違いを確認しておく必要があります。一言でいうならば、「情報」とは要素であり、「知識」とはそれらの要素があつまつて形作られる体系です。たとえば、私たちが何か知らない出来事についてのニュースを得たとき、それは少なくとも情報ですが、知識と言えるかどうかまだわかりません。その情報が、既存の情報や知識と結びついてある状況を解釈するための体系的な仕組みとなつたとき、そのニュースは初めて知識の一部になるのです。

よく知られた古典的な例として、コペルニクスの地動説があります。一五世紀半ば以降の印刷革命によって、コペルニクスは身の周りに多数の印刷された天文学上のデータを集めておくことができるようになっていました。つまり、彼はカッパ^(a)ン印刷以前の時代とは比べものにならないほどの情報に自由にアクセスできたのです。しかし、そのこと自体は、まだ知識ではありません。コペルニクス自身が彼のいくつかの仮説に基づいてこれらの情報を選別し、比較し、数式と結びつけて仮説を検証していくことで、やがて地動説に至る考えにまとめ上げていったとき、単なる要素としての情報は体系としての知識に転化したのです。

（吉見俊哉「知的創造の条件 AI的思考を超えるヒント」より、文中省略・変更あり）

〔問一〕 傍線部(ア)～(エ)に当てはまる漢字を含む熟語を、次の各群①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。

(ア)	シヨゾウ	① 原初	② 書棚	③ 庶民	④ 処遇	⑤ 長所
(イ)	テイヒョウ	① 訂正	② 帝国	③ 定価	④ 行程	⑤ 提言
(ウ)	シヨウチヨウ	① 徴収	② 超越	③ 挑発	④ 懲戒	⑤ 跳躍
(エ)	カツパン	① 克服	② 枯渴	③ 分割	④ 喝破	⑤ 活動

〔問二〕 (A)～(D)に当てはまる最も適切な言葉を、次の各群①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。

(A)	① 中心的	② 理想的	③ 決定的
	④ 補助的	⑤ 反則的	
(B)	① たとえば	② それに対して	③ さらに踏み込んで
	④ 換言すれば	⑤ 逆に	
(C)	① 特定	② 無数	③ 影
	④ 無名	⑤ 大御所	
(D)	① 有無を言わず	② 絶対的に	③ 多数決で
	④ 全員一致で	⑤ 相対的に	

〔問三〕 傍線部(a)「作者性」についての記述として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① 本は誰が書いたかはつきりしていることが基本であり、誤りや剽窃じゅうせつなどがあれば、その作者が責任をもつ。
- ② 本であっても、他の本の影響を受けて書いているので、作者性は匿名化される。
- ③ Wikipediaは、人々がより正確な情報を書こうと競い合うので、個々の作者性がより明確になる。
- ④ 大学生でも卒論やレポートを書く上で研究倫理は重要であり、著作権について学ぶべきである。
- ⑤ 現代では、投稿サイトに上げられた動画の作者性も考えていかなければならない。

〔問四〕 傍線部(b)「情報」と「知識」についての記述として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① 単に誰かから聞いただけのものは「情報」、実際に体験して得たものが「知識」である。
- ② 知らない出来事のニュースを得ただけの場合は「情報」、それが既存の情報や知識と結びついて体系的になったものが「知識」である。
- ③ ネット検索で得たものが「情報」、本を読んで得たものが「知識」である。
- ④ 「情報」と「知識」は一概に区別できず、それを得た状況や時期に左右される。
- ⑤ 本などで得た「知識」は、様々な学問的な方法論によって体系化することで「情報」となる。

〔問五〕 傍線部(c)「コペルニクスの地動説」に関する作者の見解として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① 自分を中心とした発想の地動説から、自分を中心としない発想の天動説へ転換したことで、思想的に大きな意味がある。
- ② 機材の性能の向上によって、自然現象を正確に観察できるようになったことから得られた成果である。
- ③ 民主的な雰囲気醸成され、人々が自由に議論することで得られた成果である。
- ④ 印刷革命によって、以前に比べて自由に情報にアクセスできるようになったことから得られた成果である。
- ⑤ 宗教に縛られた知の体系から抜け出したことで、近代科学の幕開けと評価できる。

〔問六〕

作者の見解として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① 検索サイトなどによるネット上の莫大な情報へのアクセシビリティとその編集可能性の拡大は、伝統的な本による情報収集を完全に凌駕している。
- ② ネットに情報が溢れているからこそ、レポートや記事を書く上での現場主義の重要性は増している。
- ③ ネットの情報と図書館の本には、本質的な差異は見いだせない。
- ④ ネット上の集合的な知でも、対面で議論しながら精査することは重要である。
- ⑤ ネット上の集合的な知は、複数人でのチェックの結果としての暫定的な正しさに依拠している。

【二】 次の文章を読んで、後の問（問一～六）に答えなさい。

現代では小説は他人を交えずひとり黙読するものと考えられているが、たまたま高齢の老人が一種イヨウな節廻しで新聞を音読する光景に接したりすると、この黙読による読書の習慣が一般化したのは、ごく近年、それも二世代か三世代の間に過ぎないのではないかと思われる。こころみに日記やカイソウ録の類に明治時代の読者の姿をさぐって見るならば、私達の想像する以上に音読による享受方式への（A）が根づよく生き残っていたことに驚かされるのである。

（中略）

石川三四郎の家は本庄の戸長、山川均の家は旧幕時代に蔵元を業としていた倉敷の旧家、一葉の亡父は警視庁のカンリ、いずれも知的雰囲気には事欠かぬ中流の家庭である。それでなお、小説は個人的に鑑賞されるものとしてより家族共有の教養の糧、娯楽の対象として考えられていたらしいのである。そして、このような団欒の形式を私達は漸く忘れ去ろうとしている。

この読み手と聞き手とからなる（B）な読書の方式は、日本の「家」の生活様式と無関係ではないと考える。それは夙にラフカディオ・ハーンが「日本人の生活には内密といふことが、どんな種類のものも殆ど全く無い。（中略）そして紙の壁と日光との此の世界では、誰も一緒に居る男や女を憚りもせず、恥づかしがりもせぬ。為す事は総て、或る意味において、公に為すのである。個人的慣習、特癖（もしあれば）、弱点、好き嫌ひ、愛するもの憎むもの悉く誰にも分らずには居らぬ。悪徳も美德も隠す事が出来ぬ。隠さうにも隠すべき場所が絶対に無いのである。」と指摘したところのプライヴァシーの（C）を基調としている。ごく近年まで小説の読書を批難の眼で見るとまでは行かないにせよ、好ましいものとして迎え入れようとしない家庭が少なくなかったが、それは小説自体の影響力とはべつに、小説とともにひとりの世界に閉じこもる

ことが、ハーンの言うような家庭全体の連帯感を疎外する行為を意味したためではあるまいか。儒教道德のキセイが厳しかった明治初年には、小説の地位はいわば「玩具」同様に貶められ、事実草双紙のごときは、家族全体で娛しむ室内遊戯のように読まれたのであった。長谷川時雨の『旧聞日本橋』は、明治十年代から二十年代にかけての下町中流階級の日常生活を刻明に記録した興味深い書物であるが、それによると夕食後奥蔵前の大火鉢のある一室に、家中の女・子供・女中が集って、行燈で影絵を写したり、きしやごはじきをしたり、縫物をしたりして団欒のいつときを過す、祖母がその音頭をとり、ときには修身談を聞かせる、そういう雰囲気の中かで草双紙が読まれたという。幼年時代、祖母・母・姉などから受けた草双紙の絵解きに、(D) 郷愁を感じている明治人は少なくない。

(前田愛『近代読者の成立』より、文中省略・変更あり)

〔問一〕 傍線部(ア)～(エ)に当てはまる漢字を含む熟語を、次の各群①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。

- | | | | | | | | | | | | |
|-----|------|---|----|---|----|---|----|---|----|---|----|
| (ア) | イヨウ | ① | 洋楽 | ② | 様相 | ③ | 概要 | ④ | 素養 | ⑤ | 溶解 |
| (イ) | カイソウ | ① | 会談 | ② | 階段 | ③ | 巡回 | ④ | 解像 | ⑤ | 改造 |
| (ウ) | カンリ | ① | 管理 | ② | 関係 | ③ | 官報 | ④ | 完了 | ⑤ | 歓喜 |
| (エ) | キセイ | ① | 帰宅 | ② | 期待 | ③ | 機能 | ④ | 高貴 | ⑤ | 規律 |

〔問二〕 (A)～(D)に当てはまる最も適切な言葉を、次の各群①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。

- | | | | | | | |
|-----|---|-------|---|-------|---|-----------|
| (A) | ① | 矛盾 | ② | 羨望 | ③ | 違和 |
| | ④ | 愛着 | ⑤ | 憧憬 | | |
| (B) | ① | 例外的 | ② | 格闘的 | ③ | 共同的 |
| | ④ | 遺伝的 | ⑤ | 革命的 | | |
| (C) | ① | 過剰 | ② | 議論 | ③ | 確立 |
| | ④ | 浸透 | ⑤ | 欠如 | | |
| (D) | ① | 捨てがたい | ② | 不可思議な | ③ | 思い出したくもない |
| | ④ | 投げやりな | ⑤ | 展望する | | |

〔問三〕

傍線部(a)の補足説明として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① 明治期に確立した私小説を読む場合に限って、ひとりの世界に閉じこもることにつながる。
- ② 娯楽を重視した大衆小説であれば、どのような読書方法でもひとりの世界に閉じこもることはない。
- ③ 小説家は、家族全体に受け入れられるような楽しい本を書くべきである。
- ④ ひとりで読書をする行為そのものが、ひとりの世界に閉じこもることにつながる。
- ⑤ この時期に小説が好ましいものとして受け入れられなかった理由として、中流階級の近代文学への無理解が挙げられる。

〔問四〕

本文の内容と合致するものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① 明治時代の学校教育は自分と向き合う時間を作るために、黙読を取り入れていた。
- ② 明治時代から黙読を習慣化すると成績が上がると言われていた。
- ③ 音読は、住環境が劣悪な明治時代の都市生活では、隣人に迷惑をかける行為であった。
- ④ 黙読が一般的となることで、明治時代にあった家族全体で読書を楽しむ雰囲気は失われた。
- ⑤ 音読によって培われた家族の連帯感は、黙読が主流になっても受け継がれている。

〔問五〕

筆者はこの文章とは別の箇所、音読から黙読への本の享受方式の転換のあとラジオやテレビなどの享受方式へと論を展開している。そのように話を展開した場合、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① お茶の間で家族全員でテレビを見る享受方式は、家族共有の娯楽になるという意味で、明治時代の音読の享受方式と近いと言える。
- ② ひとりで部屋にこもってラジオを聞く享受方式は、音を聞くという意味で、明治時代の音読の享受方式と近いと言える。
- ③ ひとり暮らしの人がテレビを見る場合も、視覚と聴覚を研ぎ澄ませるという意味で、音読の享受方式に近いと言える。
- ④ お茶の間にラジオが置かれていることが一般的な時代もあったが、家族共有の娯楽になるという意味で、明治時代の黙読の享受方式と近いと言える。
- ⑤ 個室にテレビを置くようになり、家族と住んでいてもひとりの世界に閉じこもるように作用する場合は、明治時代の音読の享受方式と近いと言える。

〔問六〕

傍線部Ⅰ「一葉」とは樋口一葉のことであるが、樋口一葉の代表作を、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① 高瀬舟
- ② みだれ髪
- ③ たけくらべ
- ④ 金色夜叉
- ⑤ 蒲団

【解答例】

入試年度 : 2023
入試種別 : 学校推薦型選抜(公募)
II 期
科目 : 基礎学力調査

〈国語〉

問No.	解答番号
1	5
2	3
3	1
4	5
5	4
6	3
7	1
8	5
9	1
10	2
11	4
12	5
13	2
14	3
15	3
16	5
17	4
18	3
19	5
20	1
21	4
22	4
23	1
24	3
25	3